

第2回検討会における意見

令和2年12月16日

東京都 都市整備局

第2回検討会意見と対応

主な意見	対応
<p><自動運転の活用シーンの検討について></p> <ul style="list-style-type: none"> ① 自動運転社会を検討する上で、前提条件（自動運転のレベル、他技術の進展状況等）の整理が必要 ② 自動運転の活用・導入の検討において、各地域特性に応じたコンセプトやビジョン（例えば、中枢広域拠点域はウォーカブルな街、新都市広域拠点域はバス交通の充実等）が必要 ③ 目指すべき都市像やライフスタイルの変化に対し、自動運転のメリットや効果、必要性や貢献内容が整理できると良い ④ ライフスタイルの変化（外出率の低下等）や今後の想定を踏まえた課題設定や活用シーン及び周辺地域への影響が整理できると良い ⑤ 駅前広場がない地下鉄が多い中枢広域拠点は、乗換え空間の確保が困難な場合が多く、活用シーンの検討で考慮が必要 ⑥ 多摩広域拠点域や自然環境共生域でも、買物や通院時の小型のモビリティの活用が考えられる ⑦ EVの充電や燃料補給の方法、駐車場の整備方針についても検討できると良い ⑧ 自動運転以外での対応（地下鉄での観光移動、買物の移動販売、在宅医療等）も考えられる 	<ul style="list-style-type: none"> ① 資料3「目指すべき東京の将来像と検討の進め方」、今後策定する「(仮称)自動運転社会を見据えた都市づくりのあり方」で整理 ② 資料3「目指すべき東京の将来像と検討の進め方」、資料4「将来イメージ図(案)の検討」で提示 ③ 資料3「目指すべき東京の将来像と検討の進め方」、今後策定する「(仮称)自動運転社会を見据えた都市づくりのあり方」で整理 ④～⑧ 資料4「将来イメージ図(案)の検討」で考慮
<p><自動運転社会における道路空間や都市づくりの検討について></p> <ul style="list-style-type: none"> ⑨ 自動運転に対応した道路空間のあり方は、道路整備や管理の目的等を考慮した丁寧な検討が必要 ⑩ 既存の道路空間において、自動運転車等の専用空間を個別に設置していくことは難しく、将来の必要性も踏まえた検討が必要 ⑪ 地域特性に応じた自動運転車と、他の交通モード（歩行者や自転車等）とのすみ分けや道路空間の使い方の検討も必要 ⑫ 駐車場の使い方のほか、附置義務の考え方が変わるといった視点での整理もできると良い 	<ul style="list-style-type: none"> ⑨～⑪ 資料4「将来イメージ図(案)の検討」で考慮 ⑫ 資料3「目指すべき東京の将来像と検討の進め方」で整理